

---

# 逆夢

モノ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

逆夢

### 【Nコード】

N1315E

### 【作者名】

モノ

### 【あらすじ】

変なおっちゃんに忠告された平次の話。

「服部平次。」

近々お前は自分の気持ちを伝えないとこんな辛い運命を辿るであろう」

変なおっちゃんが俺に言うて消えていきよった。

「へーじー」

「あ？」

「だいすき」

「は!?!」

俺の目の前でニッコニコしながら突然言うてきた。

「へーじーへーじー」

いきなりの状況で、反応しない俺の腕を取り揺さぶるとる和葉。

”気持ちを伝えないと”

和葉と目が合った瞬間、気付いたら俺は和葉を抱き締めとった。

「好きや」

和葉を強く抱き締めた。

「…あははは」

暫く経って和葉が大笑いしよったから自分から離れた。

「平次引っ掛かった」

状況がつかめへん

「なんやねん」

「告白っぽいのなら平次どんな返事するのかな思て。でも今はもう幼馴染み、やもんな。平次も冗談きついで」

わけらからん

俺はちゃんと言っただやんけ。

俺は…俺は…

「俺は…！」

「平次大丈夫？」

ハッと目を開けると、和葉が居った。

「平次うなされとつたよ？」

夢か…

「和葉…」

あんな辛い思いしたない

「ん？…て、平次？」

俺は和葉の腕を掴み、和葉の目を捕まえた。

これが現実なら…

「お前が好きや」

これでお前が傍に居ってくれるんやったら

「和葉…？」

和葉は俯いて肩を震わせとる。

「ほんまに…？」

「ああ」

「ほんまに、ほんま？」

「ほんまじゃ！…お前はどつやねん」

「平次が好きや…」

目に涙を溜めて、笑って答えた。

俺はそのまま抱き締めて、安心感を求めた。

「…不安やな」

お前が離れていってしまうんじゃないかと。

「なにが？」

「なんでもないわ」

「なんやねんそれ！」

ちよつと不安になった俺に腹が立って、和葉を強く抱き締めたら、和葉はおとなしゅうなった。

「ちよつと黙つとけ、ボケ！」

まあ俺は物分かりようないから、簡単には離してやらへんけどな。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1315e/>

---

逆夢

2010年12月1日07時30分発行